

## 業務用建物床面積の推移

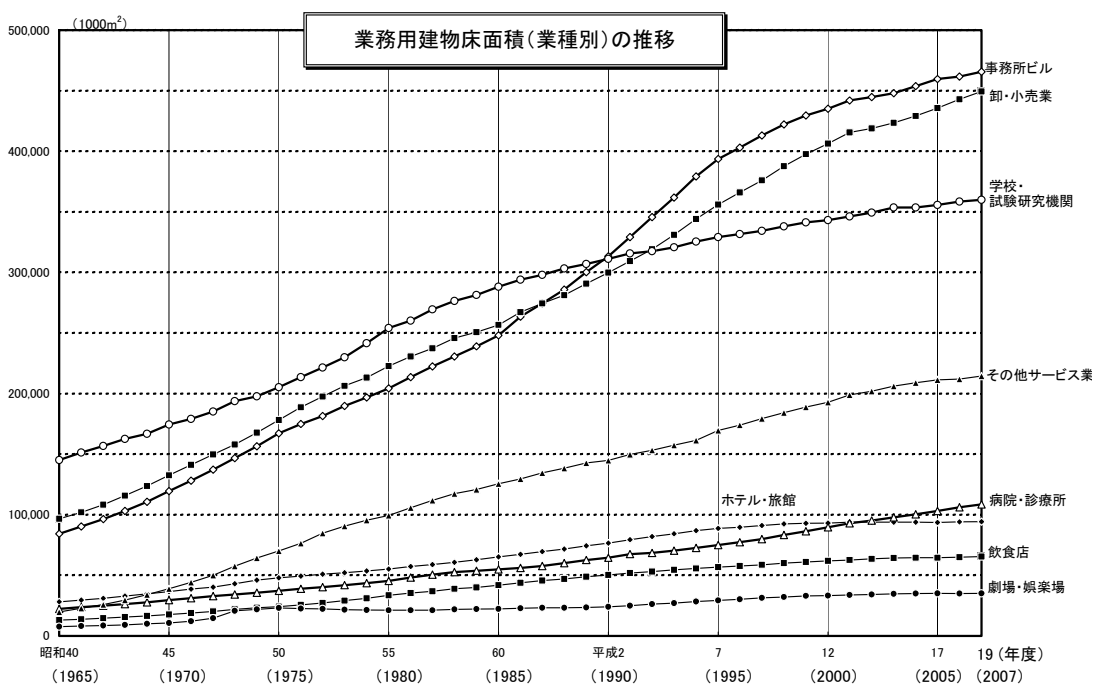
平成19年度の業務用建物床面積は17億9,347万㎡と推計された。伸び率は昨年度を若干上回る前年度比1.0%増となった。

「事務所ビル」の床面積は4億6,569万㎡で、業務用建物床面積のうち最も高い構成比26.0%を占める。伸び率は前年度比0.9%増となり、前年度（同0.4%増）を上回った。事務所ビル全体の約8割を占める事務所・銀行（非木造）の床面積は、前年度比0.9%増と前年度（同1.0%増）を若干下回る伸び率となった。

「卸・小売業」の床面積は4億4,948万㎡で、全体の25.1%を占める。伸び率は前年度比1.5%増で前年度（同1.7%増）を若干下回った。内訳を見ると、卸・小売業の約8割を占める非木造の店舗は、同2.0%増と前年度（同2.1%増）を若干下回ったものの、堅調に推移している。一方で、木造は併用住宅、店舗ともにここ数年の傾向どおり、伸び率はそれぞれマイナス（同1.6%減）、横ばい（同0.3%増）となった。

「学校・試験研究機関」の床面積は3億6,008万㎡で、全体の20.1%を占める。伸び率は前年度比0.4%増と前年度（同0.8%増）を下回った。内訳を見ると、大学が前年度比1.9%増、保育所が前年度比1.8%増とこの業種の中では堅調に増加している。一方、短期大学の減少傾向（同3.0%減）が続いている。

その他の5業種では、「病院・診療所」の伸び率は前年度比2.3%増、「その他サービス業」は同1.2%増と堅調な増加を続けている。一方で「飲食店」は同0.6%増、「ホテル・旅館」は同0.2%増と低い伸びとなった。また、「劇場・娯楽場」は同0.5%増とプラスに転じた。



トピック

